



誰もができる、緊急下の子どもたちのためのケア

「子どものための 心理的応急処置」1日研修

こどもフォーラム



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

災害などの緊急時、
あなたは子どもにどのように接しますか。

「子どものための心理的応急処置: Psychological First Aid for Children (略称: 子どものためのPFA)」は、地震や事故などの緊急時に、
ストレスを抱えた子どもたちの心を傷つけずに対応するための手法です。

子どものためのPFA

3つの行動原則



見る



聴く



つなぐ

日時

2017年 **12月10日**
10:00~16:30

定員

先着 **30名 1,000円**

※ 定員に達し次第、締め切ります

参加費

修了証

所定の研修課程を履修した方には修了証を授与します。

※理由なく欠席あるいは遅刻早退があった場合は、
修了証授与ができない場合がありますのでご注意ください。

会場

ウインクあいち 会議室1208
(愛知県産業労働センター)

※ アクセスは裏面へ

プログラム

- 子どものためのPFAとは
- 危機的状況にいる子どもが一般的に示す反応について(グループワーク+講義)
- PFAを必要とする子どもの見極め方とPFAの行動原則(グループワーク)
- ストレスを抱えている子どもとのコミュニケーションの取り方(ロールプレイ)など

* 参加にあたり、心理などに関する特別な知識は必要ありません。

講師

- **緑川 大介** 精神科医
福島県立医科大学医学部卒業。豊中市の北斗会さわ病院に勤務。2011年3月の東日本大震災発生直後から2ヶ月間、福島県いわき市で、福島医大心のケアチームリーダーとして災害精神医療に従事。以後、DPAT(災害派遣精神医療チーム)事務局 アドバイザーを兼任し、北関東豪雨災害、熊本地震時に災害派遣。(専門領域)災害精神医療 精神科救急医療リエゾン
- **南 詠子** セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 プログラム・オフィサー
環境工学、臨床心理学、演劇、アートセラピーなどを学び、2007年よりNGO職員として、インドネシアやヨルダン、レバノンで心理社会的支援にあたる。防災士、応急救命普及員などの資格を持つ。2017年9月にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに入局し、「子どものための心理的応急処置」を国内で普及するための研修を担当。

共催

こどもフォーラム / 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

詳細とお申込み方法は裏面へ

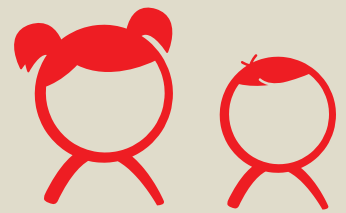
誰もが、緊急下の子どもたちのケア

「子どものための 心理的応急処置」 1日研修

地 震や事故などの危機的な出来事に直面した子どもたちは、普段とは違うさまざまな反応や考えを示します。皆さんは、ストレスを抱えた子どもたちにどう対応しますか？

「子どものためのPFA」は、世界保健機関(WHO)などが作成したPFAマニュアルをもとに、セーブ・ザ・チルドレンが子どもに特化して、2013年に開発しました。子どもの認知発達段階の特性にあわせて、ストレスを抱えた子どもを傷つけずに対応するための手法です。これまでに緊急人道支援の現場をはじめ、日本国内では2016年の熊本地震の支援活動で活用されています。現在、セーブ・ザ・チルドレンは「子どものためのPFA」を日本国内で普及するために、学校の先生や保育士、子ども支援に携わるNPO関係者や災害医療関係者などを主な対象に研修を実施しています。

1日研修では、座学とロールプレイを通じて、じっくり学ぶことができる内容になっています。普段から子どもに接する機会が多い方々のご参加をお待ちしております。



申込方法・お問い合わせ

- メールでお申込みの場合：
件名を「12月10日PFA1日研修申込み」とし、
氏名(ふりがな)、所属、電話番号をご明記ください

pfa@savechildren.or.jp

- お電話でお申し込みの場合：

03-6859-6869 (平日9:00~17:30)

※電話に回答できない場合は、折り返しでご連絡いたします。

対象

どなたでもご参加いただけます。

特に、教育機関や子ども支援NPOの方、大歓迎です。

※託児のご用意はございません。お住まいの地域の一時預かり等をご利用ください。

会場アクセス

ウインクあいち (愛知県産業労働センター)

- 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 会議室1208

・電車をご利用の場合 (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルゲイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分

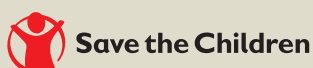


参加者の声

- 行動原則の「見る・聴く・つなぐ」はいろいろな場面で役立つと思いました。使ってみたいです。
- 理論と具体的な使い方を聞いて、さらに演習を通じて自分で体験できたのが良かったです。
- ロールプレイが楽しく、実践的に学びました。

こどもフォーラム

2016年のG7サミットに対して行われた市民の伊勢志摩サミットにおいて、市民社会から子どもに関する提言書を作ろうと呼びかけ団体として発足。現在は月1回程度、子どもアドボカシー学習会などを開催。



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際NGOです。子どもの権利が実現された世界を目指し、約100年にわたり活動しています。